

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年7月3, 6, 9, 10, 24 日 (5回 13:00~14:30)
(以下ページ同じ)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 濱中 (管理者) 森田 松本 秀浦 田中 (佳) 金崎
桐田 高田 津守 津守 (美) 品川 (以下ページ同じ)

◆29年度の課題に対する取組み状況

(注) 29年度関係職員数 10名、30年度11名

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	29年度の課題について取り組みましたか?	6人	4人	人	人	10人

29年度の課題	<p>① 介護常勤兼務者と夜勤専任者間で重要な情報共有に漏れがないよう努めること。 ② 遠方家族へ事業所からの「家族便り」やご利用者とご家族間の電話などによる家族交流を深めること。</p>
29年度の課題に対する取組み結果	<p>① 重要な情報は必ず介護記録に記入すること、および連絡ノートにより申し送ることとした。 ④ 毎月一回「家族便り」や必要に応じて手紙や電話で、出来るだけ詳しい情報提供に努めた。</p>

◆今回 (30年度 ; 5月) の事業所自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6人	5人			11人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	6人	5人			11人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	7人	4人			11人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	7人	4人			11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用者様がサービスを利用開始されるに当たっては、色々な不安やわからないことが多いことをふまえて、管理者 (ケアマネ兼務) を中心に、①~④の内容について共有し、おおむね実行できている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>②③ 小規模多機能ホーム介護職員13名の内、グループホームとの兼務者が38%、夜勤専任者が30%あり、情報共有が不十分な面がある。</p>	

30年度の課題・具体的な改善計画	(200字以内)
<p>②③ 常勤者・兼務者と夜勤専任者間で、重要な情報共有に漏れが無いよう、記録による確認をする。夜勤者の介護記録に必要な情報が漏れなく記載されるよう管理者や主任が指導し、チェックする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

メンバー

◆ 29年度の課題に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	29年度の課題について取り組みましたか?	4人	5人	1人	人	10人

29年度の課題	<p>③ 部門会議等で、ご利用者の「当面目標」をケアプランで確認し、提供するサービスを共有すること。</p> <p>④ ご利用者へ関わった内容や共有しなければならない情報は必ず記録すること。 特に、「ヒヤリハット」は正確に記録し、予防対策へつなげること。</p>
29年度の課題に対する取組み結果	<p>③ ご利用者ごとの目標や支援内容(個別介護計画)を介護記録にとじて、全職員が確認することとした。</p> <p>④ 事例として、8月26日のご利用者の転倒事故があり、「ヒヤリハット」として原因・背景・予防対策等について検討会を持ち情報共有した。</p>

◆ 今回(30年度;5月)の事業所自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	5人	4人	2人		11人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	5人	4人	2人		11人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	4人	5人	2人		11人
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	6人	4人	1人		11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>① ② 本人の目標はケアプランはじめ利用者基本情報等のシートには記述されている。</p> <p>④ 実践した内容等については定期的なミーティングで反省検討を行っており、改善策が概ね共有されている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>① ② ③ 利用者数が比較的多いこと、利用者の出入りが比較的多い(利用契約解除、新契約、再契約など)ことから、各利用者の目標を常に認識しておくことは難しい。 常勤者、兼務者、夜勤専任者間で情報の共有に差がみられる。</p>	

30年度の課題・具体的な改善計画	(200字以内)
<p>③ ④ 部門会議等で、各利用者の「目標」をケアプランで確認し、個別のサービスに生かすこと。 各利用者の介護記録にケアプランを添付し、担当職員は常に目を通しておくこと。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

3. 日常生活の支援

メンバー

◆29年度の課題に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	29年度の課題について取り組みましたか?	3人	6人	1人	人	10人

29年度の課題	<p>① 各ご利用者の「バックグラウンド」記録に各職員が十分に目を通すこと、収集した「以前の暮らし方」情報は必ず記録すること。</p> <p>③ ご利用者の「表現されない意思」を言動や表情から読み取り、介護記録に「見える化」すること。</p>
29年度の課題に対する取組み結果	<p>① ご利用者が発言された「バックグラウンド」に関することは必ず記録に残すようにした。ご家族やご本人の通いなどの日常生活の中から極力バックグラウンドの把握に努めた。</p> <p>③ 「表現されない意思」から、対人関係において日常生活上トラブルが発生するケース、トラブル防止のため、座席の配置、声掛けの順番、午睡の場所などについてミーティングで共有し、記録している。</p>

◆今回 (30年度 ; 5月) の事業所自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2人	7人	2人		11人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6人	5人			11人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		9人	2人		11人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5人	6人			11人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5人	6人			11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>① ご利用者の情報源として関係資料 (フェイスシート、現状報告書、利用者基本情報、お薬情報等) があり、自宅での生活環境はおおむね把握されている。</p> <p>② ⑤ 概ねできている。</p>
できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>③ ご利用者が表現しない意思を掘り起こすことは難しい。さらに記録に残す作業がやや不足している。</p> <p>④ 気持ちや体調変化を記録して夜勤者へ、夜勤者から日勤者へ全て記録で伝えることがやや不足している。</p>

30年度の課題・具体的な改善計画	(200字以内)
	<p>③ 「声にならない声」の事例、掘り起こし方、記録方法等について検討会を持つこと。</p> <p>④ 夜勤者と日勤者間、専任者と兼務者間の情報共有は出来るだけ記録資料によって行うこと。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー

◆ 29年度の課題に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	29年度の課題について取り組みましたか?	3人	7人	人	人	10人

29年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ① 本人のこれまでの生活スタイルや人間関係など、バックグラウンド記録等により再認識すること。 ③ 自宅での生活実態について本人や関係者などから聞き取って介護記録に記述し、日々のサービスに反映させること。 ④ 各地域資源に関するリストを作成して認識を深め、情報収集の幅を広げること。
29年度の課題に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ① バックグラウンド記録により、生活スタイル・人間関係は一応理解している。知人・友人との関係密度は次第に低下してきており、この点がなお支援課題の一つとして残されている。 ③ 特に本人からの聞き取りによって生活実態の把握に努め記録した。例えば、冠婚葬祭への参加、遠方の子供の還暦祝いに行った、迎えに来てもらって娘の家に3晩泊まったなど。 ④ 地域資源にはフォーマル、インフォーマルのものがあることを踏まえ、内部研修会をもって改めて認識を深めることができた。

◆ 今回(30年度;5月)の事業所自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3人	7人	1人		11人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2人	9人			11人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1人	8人	2人		11人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	4人	7人			11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等については、本人の関係資料が数種類あり概ね理解されている。 ② ご家族との情報交換ノートがあり、本人と家族関係の連絡が来ている。地域行事等には出来るだけ参加して頂き、友人・知人との交流をもって頂いている。 ④ 民生委員や自治会長のリストがあり、ご本人の安全面・衛生面等について必要に応じて情報交換している。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ① プライバシーに関わる面もあり、理解できていない点もある。 ③ 独居の人や通いサービスが比較的小さいご利用者については、把握が十分できないケースがある。 	

30年度の課題・具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ③ 本人の通い以外の自宅での生活実態について、本人や関係者などから聞き取って介護記録に記述して共有し、日常のサービスに反映していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー

◆ 29年度の課題に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	29年度の課題について取り組みましたか?	4人	6人	人	人	10人

29年度の課題	① 4-④で得られた地域資源に関する知識をもとに、地域資源の活用による支援の幅を広げること。地域資源の活用により支援内容を充実できるようケアプランへ反映すること。
29年度の課題に対する取組み結果	4-④で得られたそれぞれの地域資源をよく理解し、支援内容の幅を広げること努めた。 (総合マネジメント記録参照) 多機能ホームで会議を持ち地域資源の認識を深めた (29年12月1日今後も課題として継続したい)

◆ 今回 (30年度 ; 5月) の事業所自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	4人	7人			11人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8人	3人			11人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	6人	5人			11人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	7人	4人			11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>① 行政、福祉関係団体、医療機関、民間支援団体などがあり、日常的なかかわりや定期的な情報交換会などがある。これらを利用した支援はほぼできている。</p> <p>②③④についても、昨年同様ほぼ実行できている。最近見られる異常気象現象の予報に注意して、サービスの変更など柔軟に対応している。夜勤専任者と日勤者間で、「変化」の情報共有には十分留意している。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>② 遠方の家族から、ご利用者の体力低下や夜間の安全のために泊りサービスを多くとるよう強い要請がある半面、本人の強い帰宅願望もあってサービスの調整が難しいケースもある。また、独居のリスクが次第に高くなる一方、自己負担がかさむ泊りサービスは抑えたいというケースがある。</p>	

30年度の課題・具体的な改善計画	(200字以内)
<p>① 地域資源に関する認識が不足している面があるので、再認識と連携等に関する勉強会を計画する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

6. 連携・協働

メンバー

◆29年度の課題に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	29年度の課題について取り組みましたか?	6人	3人	1人	人	10人

29年度の課題	④ 新・総合事業への参加の検討がすすめており、これがサービス利用者やそれ以外の高齢者・子供達が高齢者福祉事業への関心と参加への一助となるための仕組みをいかに構築するか。
29年度の課題に対する取組み結果	平成29年9月26日、今後の総合事業参加方針等について関係者による非公式の会合を持った。NPOとしての参加理念は、特定事業(類型)を軸に、子どもから高齢者へ包括的なサービス提供(全国の先進事例などを参考)を考えていることを説明した。

◆今回(30年度;5月)の事業所自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	7人	4人			11人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	9人	2人			11人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	7人	4人			11人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	6人	2人	3人		11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②③ 総合マネジメントを効果的に進める観点から、関係機関・団体等との連携の重要性を認識しており日常的に努力していると考えている。	
④ 地元中学校生徒の職場体験学習を毎年・定期的に受け入れている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
④ 一般住民や近隣の子供の来訪はまれであるが、ご利用者の自治会関係者や親せき・知人の来訪がある。	

30年度の課題・具体的な改善計画	(200字以内)
④ 今年度、道の駅を活用した介護予防・生活支援事業(新・総合事業)の開設に具体的に着手する。これが登録者以外の高齢者や子供達、一般住民が事業所への関心を高めることを期待している。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

7. 運営

メンバー

◆29年度の課題に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	29年度の課題について取り組みましたか?	6人	4人	人	人	10人

29年度の課題	
① 毎月の反省検討会や個別面談において経営関連情報を十分提供し、意見が出るようにしていくこと。	
②③ 利用者・家族・介護者や地域の方からの意見・要望・苦情等を出来るだけくみ取るため、運営推進会議委員の増員や地域住民のオブザーバー参加について検討すること。	
29年度の課題に対する取組み結果	
① 毎月、各職員が「介護サービス改善へ向けて(自己評価、提案など)」を提出しておりこの内容に「業務改善提案」の欄を設けて、意見を出しやすくした。	
②③ 運営推進会議メンバーの増員については第3回会議で発議しており、引き続き協議する。家族のオブザーバー参加についても協議し、家族へ打診する。	

◆今回(30年度;5月)の事業所自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	6人	4人	1人		11人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	9人	1人	1人		11人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	9人	1人	1人		11人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	7人	3人	1人		11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① 毎月の反省検討会、定期的な個人面談の場や必要に応じて行う面談はスタッフの意見を聞く重要な機会となっている。毎月の自己反省シートには業務改善意見の欄が設けられている。	
②③ 運営推進会議の家族委員を通じて地域の苦情や意見を聞き、運営に反映しているが件数は少ない。	
④ 地域の介護認定審査委員、地域ささえあい協議体委員として参加、地域環境整備作業への参加、福祉団体や地域行事への寄付、キャラバンメイトへの参加など、地域社会のために出来ることは積極的に対応している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
① 運営に関する知識や認識が薄いこと、またわかりにくいということから、意見が出にくいという側面がある。	
②③ ご利用者家族や地域住民からの苦情や意見など、幅広く情報収集できる事業所ネットワークが弱い面がある。	

30年度の課題・具体的な改善計画	(200字以内)
① 昨年同様に反省検討会や個別面談において経営関連情報を十分提供し、認識を深めること。	
②③ 利用者・家族・介護者や地域の方からの意見・要望・苦情等を出来るだけくみ取るため、運営推進会議の持ち方や家族・地域住民のオブザーバー参加について引く続き検討する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

8. 質を向上するための取組み

メンバー

◆29年度の課題に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	29年度の課題について取り組みましたか?	5人	5人	人	人	10人

29年度の課題	<p>① ② 事業所スタッフを増員することから、スタッフの研修機会の増進を計画すること。 ④ 「リスクマネジメント」の概念について再認識するため所内研修の課題にとり上げること。</p>
29年度の課題に対する取組み結果	<p>① ② 11月1日付けで介護職員1名を増員したので、新年度から研修機会を増やすことが出来る。 (今年度中は職員の長期休暇等があり、外部研修機会が少なかった) ④ 健康・安全対策委員会において資料を提示して説明した(資料は第4回運営推進会議議題と同じ)。</p>

◆今回(30年度;5月)の事業所自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	9人	1人	1人		11人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	7人	4人			11人
③	地域連絡会に参加していますか	9人	1人	1人		11人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	6人	3人	2人		11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① ② ③ ④	<p>介護の「質」は事業運営の基盤であり、その基盤は人材によって築かれる、と常に職員へ意識づけている。そのため、職員を内外の研修に積極的に参加させている。またキャリアパスによる自己評価を行い、自己啓発や人事考課につなげている。 地域の関係機関・団体による情報交換会には管理者(ケアマネ兼務)が常時参加している。 事業所における「防災への取組み体系」があり、また各リスクについて「対応マニュアル」がありその実践力を高めるため定期的な研修をしている。ヒヤリハット記録を整理し、対策検討会を持っている。</p>

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
① ② ④	<p>外部研修の時期が春季と冬季に集中しており、春季は煩雑な所内行事が多いこと、冬季は中国山脈超えて山陽側への通行に支障が多いことから重要な研修機会を失うことがある。 リスクマネジメントの概念とその内容を把握できていないケースがある。</p>

30年度の課題・具体的な改善計画	(200字以内)
① ② ③	<p>「介護助手」を数名採用し、事業所として介護職人材の有効活用による介護の「質」の向上を目指す。 「リスクマネジメント」について再認識し、実践できるため研修を引き続き行う。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

9. 人権・プライバシー

メンバー

◆29年度の課題に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	29年度の課題について取り組みましたか?	4人	6人	人	人	10人

29年度の課題	③ 「尊厳」の観点から「プライバシーは守られなければならない」ことを再認識し、「守られていない具体例」を提示して、部門会議等でその対応を検討すること。
29年度の課題に対する取組み結果	③ 11月22日の内部検討会議で「事例」を出し合って提示し、対応を検討した。

◆今回(30年度;5月)の事業所自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10人	1人			11人
②	虐待は行われていない	9人	2人			11人
③	プライバシーが守られている	5人	6人			11人
④	必要な方に成年後見制度を活用している				必要な方の在籍がない	人
⑤	適正な個人情報の管理ができています	5人	6人			11人

できている点 (参考:29年度)	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①② 運営規定により身体拘束を禁止し、徹底されている。 虐待や身体拘束に関して毎月調査を実施し、介護職員から自己申告をしてもらっている。 ③⑤ プライバシー保護や個人情報の適正管理は、個人の尊厳という観点から重点目標にしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
③ 排泄や健康管理面の支援・見守りにおいて、遮蔽物が不十分、声の大きさなど注意すべき点がある。一般住民の中には「プライバシー」保護という観念がなく「話題」として事業所職員へ持ちかけるケースがある。 ④ 成年後見制度が必要とされたケースは今まで無い。	

30年度の課題・具体的な改善計画	(200字以内)
①②③ 「尊厳」の観点から虐待・拘束問題やプライバシー問題を再認識するため、外部講師による所内研修を計画する。この中で、事例研究や虐待・拘束問題の「グレーゾーン」問題も研修に含める。	